



# 法人よつば たより

No.22

発行：社会福祉法人よつば ☎04-7199-7931  
発行日：2023年 5月 1日  
ホームページ：http://www.kashiwa-yotsuba.jp

## ☆ご挨拶

・三月に開いた二つの啓発講演会  
を感謝して

「生きづらさを抱える人への支援」と「発達障害とは？」の講演会を柏市と流山市で開催しました。講師の方たちの労により、意義深い講演内容となりました。それぞれの講演会には、各九十名ほどの参加者がありました。

・法人よつばの令和五年度がスタートします

令和四年度の事業と決算が終了し、六月からは新理事と監事を迎えて、法人よつばの開設二十一年目の歩みが始まります。理事と監事の九名体制から十名体制となり、この内六名の方が交代となる予定です。過半数の方が入れ替わることで、新しい視点を取り入れる人事となります。

## ☆障害者の体験や思い

・柏市在住 AJさん



私は去年まで、精神科病院に入院していました。それまでは柏市の自宅にいたのですが、服薬を適度に抜いていたことや、両親とのストレスで、ついに暴言・暴力を

ふるってしまい、警察を呼ぶ事態となつて、精神科病院に医療保護入院となりました。退院まで二年かかりましたが、その間に服薬の習慣を学び、きちんと飲むことが自分のためになることを学びました。両親は私がグループホームに入居することを願いましたが、私は拒否しました。このため、退院に手間取った挙句に、両親は周囲の勧めで、家を出てアパートに引っ越しました。私と一緒に暮らすことは、またもめ事が再現するということと、一緒に暮らすことは嫌だということでした。自分の招いたことなので、拒否されても仕方ありません。相談支援専門員の勧めで、流山市のB型事業所に通っています。家から通いやすい所だからです。

B型事業所には週三回通っています。生活費は障害者年金と両親の振り込みで生活できます。母はパートで仕事をしているとのことですが、気分転換になって楽しいと電話で話していました。退院後は両親とは会っていません。まだ会える気持ちになれないということです。住所も教えてもらっていません。父は年金生活をしながら、

シルバー人材センターで仕事をしています。私の暴力が招いた結果ですが、時々寂しくなります。でも何とか私も生きていこうと思えます。困ったときは事業所の職員や相談支援専門員の方が相談に乗ってくれるので、助かります。

## ☆家族の思いと願い

・流山市在住 AKさん



私の子どもは、中学生の時からひきこもりです。学校でいじめを受けたことがきっかけでした。「学校が怖い」と言つて、動けなくなりました。高校は通信で卒業しました。その時からもう二十年になります。一步も家を出ないということではなく、近くのコンビニや気が向けばふらつと外出をします。以前は、私たちに暴言を吐いたり暴力をふるったりしたこともありましたが、今ではおとなしくなつていて、かえつてそれが心配です。気が向くと家の手伝いをしてくれたり、夕ご飯と一緒に食べたりしますが、昼夜逆転の時はすれ違いになります。以前は、夫も息子にいろいろ話をしていましたが、今は雑談程度しか話をしません。二十年も経てば、仕事は無理だろう

と考えているようです。家は出な  
くても、インターネットで世の中  
のことは知っています。SNSで、  
知り合いもできたようです。顔を  
見なければ、会話は出来ているん  
だと思えます。

最近、知り合いを通じてひきこ  
もりへの家庭訪問をしてくれる方  
がいることを知り相談しました。

その人の話では、本人に会う場合  
は、本人の了解が必要とのこと  
でしたが、まず家族との話が可能と  
のことで、お願いしています。息  
子は拒否していますので、私たち  
が会って話を聞いてもらっています。

紹介を受けて、筑波大学の齋  
藤環先生の、ひきこもりの本や動  
画をユーチューブで見ようにな  
りました。これまで、息子に間違  
った対応をしていたことや世間体  
を気にしていたことなどを学んで  
反省をし、まだ息子も三十代です  
ので、希望をもって向き合ってい  
きたいと思っています。息子  
が病気があるのかどうかは分かり  
ません。病院の診断も出ていない  
からです。ひよつとしたら発達障  
害や適応障害があるのかもしれま  
せん。息子が了解してくれば、  
一度病院で診察を受けさせてみた

いと思っています。

子どもがひきこもりの状態に  
あることを兄弟や友達にも話せて  
いません。恥ずかしいことではな  
いので、機会があればこれからは、  
話せるようになりたいと思うよう  
になりました。子どもが変わるこ  
とを願う前に、私たち家族が変わ  
ることが必要なんだと教えられて  
います。ひきこもりの人は子ども  
でも大人でもたくさんおられるん  
だと驚いています。これまでは、  
自分のところだけなのかと思い込  
んでいました。家族みんなでひき  
こもっていたようなものです。

☆発達障害者の「家族会」と

「当事者会」のご案内

発達障害者の家族会は、会場は  
流山市ですが、参加者は隣接市の  
柏市や我孫子市、野田市などから  
も参加されています。毎回、近況  
報告とともに、情報提供や本や記  
事の紹介、マスコミなどでの紹介  
などを取りあげています。

当事者会では、自分の思いを話  
す場です。周囲の人たちが発達障  
害を理解できていないことがあつ  
て、すれ違いや誤解も生まれます  
ので、どんな思いでいるかを話す

場となっています。

※集まりの紹介

- ・家族会 毎月第二土曜日朝十  
時から、初石公民館にて
- ・当事者会 毎月第四日曜日午  
後一時から、初石公民館にて
- ・問い合わせ 勝本まで  
090-3696-1589

☆法人の事業案内

・就労支援B型「よつば工房」昨  
年の秋から「畑作業での野菜作り」  
を始めました。今年もこれから作  
付けを始めます。農作業に関心の  
ある方はご利用ください。問い合  
わせは、よつば工房〇四・七一三  
三・三〇四六です。

・地域生活支援センターⅢ型「ク  
ローバ柏」柏警察の近くにありま  
す。社会への第一歩を目指し、生  
活のリズムを整え、人間関係に慣  
れ、マイペースを保ちながら、少  
しづつ活動を広げていきたいと願  
う方にピッタリです。問い合わせ  
は、クローバ柏〇四・七一四六・  
一二六七までお願いします。

☆先人の言葉

・犠牲を払っていると思つてやつ  
ていることは、必ず誰かを犠牲に



している。ボランティアも、それ  
が誰かに意味があるのは、自分  
にとって意味があるからだ。自分を  
粗末にする人は、他人も粗末にす  
る。自分で自分にきちんとして責任を  
持つ人は、他人に対しても責任を  
持つ。

・人間の寿命について幾つかの説  
がある。有名なその第一は、細胞  
プログラム説と呼ばれる、レオナ  
ルド・ヘイクリック説によるもの  
で、人間の細胞は六十回程度分裂  
すると、それ以上分裂できなくな  
るため、それが寿命に関わるとい  
う考えである。もう一つの考えは、  
活性酸素が細胞に働いて、細胞を  
弱らせ、破壊していくという考え  
方である。活性酸素は、細胞を老  
化させ、やがては死に至らせるた  
めに、人間は寿命が定まっている  
という考え方である。

柏部会の案内

日時 五月二十日(土)

午後一時から

会場 パレット柏C会議室

流山部会の案内

日時 五月二十六日(金)

午前十一時半から

会場 柏の葉キャンパス八菜

